

# 半島振興策のこれまでの成果と現状、対応の方向性 中間とりまとめ概要

- 半島振興に係る各種施策は一定の成果を挙げてきているものの、三方を海に囲まれ、山がちな地形等の半島の地理的特性から未だ課題も残されており、現在の半島地域に対する支援措置を継続・強化し、条件不利性に対応した安全安心な地域づくりや強みをいかした産業・観光振興、地域の担い手確保、関係人口の拡大等に取り組んでいく必要

## 1 半島振興策のこれまでの成果と現状

### (1) 条件不利性の克服

- 半島振興に係る取組は一定の成果をあげてきたが、半島地域では、全国平均を上回るペースで**人口減少・高齢化が進行**  
一方、コロナ禍以降の**移住・二地域居住に対する関心の高まりへの対応**により、**半島地域の活性化につながる可能性**
- **道路等の基盤整備は着実に進展も、地域公共交通等暮らしに不可欠な生活サービスの利便性向上は課題として多く認識**

### (2) 強みをいかした地域振興

- 古くから漁業や農業が基幹産業として発展してきた半島地域は、現在も**全国トップレベルの水産物・農産物の産地**であり、また、**伝統工芸品等の特色ある産品も多数存在**
- 産業振興に係る施策の推進もあり、半島地域の農業産出額は順調に推移も、一人当たりの平均所得額では全国との差を縮められず、**地域産業支援による半島地域全体の活性化は、未だ道半ば**
- 半島地域は、世界遺産、ジオパーク等の文化的・歴史的価値のある**独特な地域資源が多数存在**しており、**観光資源としての活用が期待**されていることに加え、地域の豊富な**自然環境の保全を図ることが重要**

### (3) 令和6年能登半島地震の教訓

- 能登半島は、能越自動車道（高規格道路）や能登空港等、半島地域の中でも比較的**交通インフラの整備が進められて**きていた地域
- しかし、今般の**地震**では、地震の揺れや津波による被害に加え、**代替ルートが少ない山がちな半島の先**という特性から、道路や港湾等の大規模な損壊、ライフラインの寸断・途絶等**甚大な被害が発生、集落の孤立も大きな課題**となった
- また、**広域避難が多く発生**したことに加え、ライフラインの復旧困難性により避難生活が長期化し、産業の担い手が不足したこと、また、漁港をはじめとする産業基盤に**甚大な被害が生じたことも大きな課題**

## 2 対応の方向性

### (1) 「半島振興」の前提となる「半島強靱化」対策の強化

- 令和6年能登半島地震における**被害実態やその後の状況を踏まえ**、地域住民が半島に住み続けることを諦めないためにも、半島地域の条件不利性克服と半島地域の更なる振興を目指し、交通基盤（道路、空港、港湾等）及び産業基盤（漁港、農業水利施設等）のレジリエンス向上、防災計画の見直しや災害応援協定等、**ソフトとハードの両面から半島地域の強靱化のための十分な備えについて検討**する必要
- 半島地域の地理的特性による今般の地震の**甚大な被害を踏まえ、自立・分散型**の地域づくりを検討するとともに、**孤立対策や広域避難の対策も検討**する必要

### (2) 条件不利性に対応した安全・安心な地域づくり

- 人口減少下でも持続可能で活力ある地域づくりを目指し、**交通・物流、医療・福祉等半島地域における生活サービスの確保**に努める
- その際、能登半島地震の教訓を踏まえ、平時だけでなく災害時の活用も念頭に、ドローン物流、移動販売車の導入等、デジタル技術も活用して**半島地域の生活サービスの維持・向上**を図るとともに、担い手・人材不足の解消を目指す

### (3) 強みをいかした産業振興、観光振興等

- 食を中心とした**産業振興施策**は、真に地域に利益が還元される取組を志向しつつ引き続き**推進**するとともに、**半島地域の独特な地域資源を観光資源として大いに活用**していく
- **産業・観光振興に資する流通確保を推進**し、これらの振興を後押しする必要
- 半島地域の強みである**地域資源や再生可能エネルギー**を新たな地域づくりの視点として、これを**核とした地域内における経済循環の構築**を目指す

### (4) 地域の担い手確保・関係人口の拡大

- 人口減少、高齢化が進行するなかで、半島地域の振興を進める上では、**地域の担い手の確保が最重要課題**  
体験と学びを通じて半島地域が有する優れた地域資源を若い世代に引き継ぐとともに、その魅力を内外に広く発信し、**半島地域を「選んでもらう」ことも重要**
- 半島地域でも**関係人口は、地域を支える人材の切り札となる大きな役割が期待**  
コロナ禍後の若い世代における移住・二地域居住への関心増加を好機と捉え、シェアオフィス・サテライトキャンパスの整備等による**「人」「場」「仕組み」づくりにより、二地域居住等や関係人口の拡大を推進**